



## 2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL https://humanmetabolome.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 克仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 大畑 恭宏 TEL 03-3551-2180  
 定時株主総会開催予定日 2023年9月22日 配当支払開始予定日 2023年9月7日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	1,299	6.2	210	10.4	232	△8.1	285	6.7
2022年6月期	1,223	8.8	191	385.5	253	325.3	267	360.0

(注) 包括利益 2023年6月期 283百万円 (21.0%) 2022年6月期 234百万円 (339.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	48.39	—	18.4	10.7	16.2
2022年6月期	45.39	45.39	20.7	13.7	15.6

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 一百万円 2022年6月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	2,291	1,772	74.1	287.37
2022年6月期	2,068	1,486	68.1	238.61

(参考) 自己資本 2023年6月期 1,697百万円 2022年6月期 1,407百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	284	△116	△13	1,656
2022年6月期	324	△152	80	1,504

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00	59	20.7	3.5
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		31.6	

### 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450	11.6	260	23.2	280	20.4	280	△2.0	47.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期	5,907,175株	2022年6月期	5,900,300株
② 期末自己株式数	2023年6月期	144株	2022年6月期	112株
③ 期中平均株式数	2023年6月期	5,904,922株	2022年6月期	5,900,188株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年8月17日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
生産、受注及び販売の状況 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染状況については徐々に改善が見られ、経済活動の活性化が進む一方、日米金利差に起因する円安、資源価格の高止まりに伴う国内物価の高騰、世界景気の減速懸念等により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属するライフサイエンス業界においては、感染症対策としての治療薬・ワクチン等の開発に加え、免疫力向上等の感染症予防を促進するための機能性表示食品開発等、健康管理へのニーズの高まりを受けた研究開発の増加傾向が継続しています。

このような状況の中、当社グループでは代謝物の高感度網羅解析サービスの営業活動を精力的に行うことで先端研究開発支援事業の受注拡大を図るとともに、研究開発費を除く一般管理費の削減に引き続き取り組みました。研究開発においては、機能性素材開発における革新的なワンストップソリューションサービス（機能性素材開発包括支援サービス）の開発を中心に、メンタルヘルスバイオマーカーの事業化のための研究開発等を推進しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、1,299,225千円（前年同期比6.2%増）と増収となりました。将来の成長に向けて研究開発に注力した結果、研究開発費が増加した一方、売上増加に加えて、生産性向上による一般管理費を削減したことにより、営業利益も210,982千円（前年同期比10.4%増）と増益となりました。一方で経常利益は前連結会計年度に計上した為替差益が減少したこと等により、営業外損益が40,299千円減少し、232,611千円（前年同期比8.1%減）となりました。この結果に加え、当連結会計年度より繰延税金資産の回収可能性の区分を変更したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は285,758千円（前年同期比6.7%増）となりました。

	2022年6月期	2023年6月期
売上高	1,223,281千円	1,299,225千円
営業利益	191,150千円	210,982千円
経常利益	253,078千円	232,611千円
親会社株主に帰属する当期純利益	267,785千円	285,758千円

セグメント別の状況は、次のとおりです。

## &lt;先端研究開発支援事業&gt;

	2022年6月期	2023年6月期
売上高	1,220,425千円	1,251,738千円
(内国内売上高)	1,028,794千円	1,032,767千円
(内海外売上高)	191,630千円	218,969千円
セグメント利益	331,992千円	353,609千円

当事業セグメントにおいては、国内外ともに代謝物の高感度網羅解析サービスや、提携先から導入したその他オミクス受託サービスの販売が堅調に推移し、製薬分野を中心として売上が増加し、一般管理費の削減にも努めた結果、増収増益となりました。

この結果、売上高は、1,251,738千円（前年同期比2.6%増）となりました。全社費用配賦後のセグメント利益は353,609千円（前年同期比6.5%増）となりました。

## &lt;ヘルスケア・ソリューション事業&gt;

	2022年6月期	2023年6月期
売上高	2,856千円	47,487千円
(内国内売上高)	2,856千円	47,487千円
(内海外売上高)	－千円	－千円
セグメント損失(△)	△140,842千円	△142,627千円

当事業セグメントにおいては、機能性素材開発における革新的なワンストップソリューションサービス（機能性素材開発包括支援サービス）の開発やメンタルヘルスバイオマーカーの共同開発を進めるとともに、皮膚ガス測定サービスなどの拡販を推進しました。

この結果、売上高は47,487千円（前年同期は2,856千円）と増収となりました。一方、新事業等に向けて研究開

発に注力し研究開発費が増加したため全社費用配賦後のセグメント損失は142,627千円（前年同期は140,842千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,848,331千円となり、前連結会計年度末に比べ106,364千円増加しました。これは、営業キャッシュ・フローの改善により現金及び預金が152,045千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は442,727千円となり、前連結会計年度末に比べ115,965千円増加しました。これは、最新の測定機器の導入に伴い工具、器具及び備品が95,470千円、生産管理システムの導入により無形固定資産が15,690千円増加したこと、また繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産が71,195千円増加した等によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は493,007千円となり、前連結会計年度末に比べ53,272千円減少しました。これは、未払金が49,863千円、未払法人税等が24,451千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は25,723千円となり、前連結会計年度末に比べ10,147千円減少しました。これは、リース債務が10,170千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,772,328千円となり、前連結会計年度末に比べ285,750千円増加しました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益285,758千円を計上したこと等によるものであります。

なお、2022年9月22日に開催された株主総会において、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件が決議されたため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、振替後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金へ振替える処理を、第1四半期連結会計期間において実施しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ152,045千円増加し、1,656,789千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは284,962千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益237,002千円の計上及び減価償却費80,386千円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは116,755千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出98,786千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは13,754千円の支出となりました。これはリース債務の返済による支出が13,730千円減少したこと等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の第5類への移行により、経済社会活動の正常化に向けた動きが期待されるものの、資源価格の高騰懸念、国内物価の上昇などにより、経済の先行きの不透明感はぬぐい切れない状況です。また欧米でのインフレ対策としての金融引き締め等による景気低迷懸念も注視していく必要があります。当社が属するライフサイエンス業界は、このような環境下にあっても成長が見込まれる数少ない分野の一つとして研究開発投資が高水準で継続しており、今後も中長期的に一層の成長が見込まれると考えております。

このような状況のもと、当社グループでは先端研究開発支援事業において更なる事業拡大を図るため、引き続き新たな解析メニューの拡充、営業体制の強化、解析生産性向上等オペレーショナル・エクセレンスの向上に取り組んでまいります。

ヘルスケア・ソリューション事業においては、予防・未病に寄与することを目指し、機能性素材開発におけるワンストップソリューションサービス（機能性素材開発包括支援サービス）の拡販を中心として当該セグメントの拡大を図ってまいります。またメンタルヘルス関連ビジネスの実用化・事業化につきましても引き続き推進してまいります。

次期の売上高につきましては、主力である先端研究開発支援事業において、付加価値の高い高感度網羅解析サービスの新メニュー拡充等による受託解析の更なる拡大を見込んでおります。またヘルスケア・ソリューション事業においても、機能性素材開発に関連するソリューションサービスの拡販による売上増加を見込んでおります。加えて適切なコストコントロールによる利益拡大に努めてまいります。2023年6月期は繰延税金資産の回収可能性の区分変更の影響（68,196千円）により、親会社株主に帰属する当期純利益が増加しました。2024年6月期は連結営業利益で23%の増加を目指してまいります。

なお、為替レートは、1米ドル120円を見込んでおります。

	2023年6月期（実績）	2024年6月期（業績予想）
売上高	1,299百万円	1,450百万円
営業利益	210百万円	260百万円
経常利益	232百万円	280百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	285百万円	280百万円
米ドル平均レート	137.45円	120.00円

（注）当社グループの主力事業である先端研究開発支援事業は、医療機関・研究機関を中心とした多くの顧客の年度末に納期が集中することから、売上高が当社第3四半期（1月～3月）に偏重する事業特性を有しております。従って、業績管理は年次で行っており、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績予想については投資家へ提供する情報としての適切性・有用性に問題が生じるおそれがあるため、業績予想は通期のみ記載しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、将来のIFRS適用に備え、社内外の動向や当社グループへの影響等について調査を行い、その適用時期等についての検討を進めております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,504,744	1,656,789
売掛金	158,117	129,853
商品	18,859	11,217
仕掛品	15,834	9,150
原材料及び貯蔵品	8,705	5,849
その他	35,705	35,471
流動資産合計	1,741,967	1,848,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,760	59,760
工具、器具及び備品	492,375	587,845
車両運搬具	317	—
リース資産	223,544	230,814
減価償却累計額	△528,900	△607,493
有形固定資産合計	243,096	270,928
無形固定資産		
投資その他の資産	6,105	21,796
投資有価証券	7,000	7,000
繰延税金資産	64,827	136,023
その他	5,731	6,979
投資その他の資産合計	77,559	150,002
固定資産合計	326,761	442,727
資産合計	2,068,728	2,291,058
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	123	—
短期借入金	200,000	200,000
リース債務	9,864	13,361
未払金	128,676	78,813
未払法人税等	32,808	8,356
賞与引当金	77,074	83,441
その他	97,732	109,033
流動負債合計	546,279	493,007
固定負債		
リース債務	23,331	13,160
資産除去債務	12,540	12,562
固定負債合計	35,871	25,723
負債合計	582,151	518,730
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,600	1,484,660
資本剰余金	1,470,317	3,059
利益剰余金	△1,522,937	233,138
自己株式	△143	△167
株主資本合計	1,428,837	1,720,691
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△21,014	△23,199
その他の包括利益累計額合計	△21,014	△23,199
新株予約権	78,754	74,837
純資産合計	1,486,577	1,772,328
負債純資産合計	2,068,728	2,291,058

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,223,281	1,299,225
売上原価	383,276	439,473
売上総利益	840,004	859,752
販売費及び一般管理費	648,854	648,770
営業利益	191,150	210,982
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	14
補助金収入	16,931	18,421
為替差益	46,092	4,106
その他	1,460	1,486
営業外収益合計	64,495	24,028
営業外費用		
支払利息	2,214	2,265
その他	352	133
営業外費用合計	2,566	2,398
経常利益	253,078	232,611
特別利益		
新株予約権戻入益	9,081	4,390
特別利益合計	9,081	4,390
特別損失		
減損損失	248	—
特別損失合計	248	—
税金等調整前当期純利益	261,911	237,002
法人税、住民税及び事業税	30,752	22,439
法人税等調整額	△36,627	△71,195
法人税等合計	△5,874	△48,756
当期純利益	267,785	285,758
親会社株主に帰属する当期純利益	267,785	285,758



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	267,785	285,758
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△33,393	△2,185
その他の包括利益合計	△33,393	△2,185
包括利益	234,392	283,572
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	234,392	283,572
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,481,600	1,470,317	△1,790,722	△143	1,161,051	12,379	12,379	86,698	1,260,129
当期変動額									
新株の発行	—	—			—				—
連結範囲の変動			0		0				0
親会社株主に帰属する当期純利益			267,785		267,785				267,785
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△33,393	△33,393	△7,944	△41,337
当期変動額合計	—	—	267,785	—	267,785	△33,393	△33,393	△7,944	226,448
当期末残高	1,481,600	1,470,317	△1,522,937	△143	1,428,837	△21,014	△21,014	78,754	1,486,577

当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,481,600	1,470,317	△1,522,937	△143	1,428,837	△21,014	△21,014	78,754	1,486,577
当期変動額									
新株の発行	3,059	3,059			6,118				6,118
連結範囲の変動			0		0				0
親会社株主に帰属する当期純利益			285,758		285,758				285,758
欠損填補		△1,470,317	1,470,317		—				—
自己株式の取得				△23	△23				△23
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△2,185	△2,185	△3,917	△6,102
当期変動額合計	3,059	△1,467,257	1,756,075	△23	291,853	△2,185	△2,185	△3,917	285,750
当期末残高	1,484,660	3,059	233,138	△167	1,720,691	△23,199	△23,199	74,837	1,772,328

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	261,911	237,002
減価償却費	64,896	80,386
減損損失	248	—
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△16,302	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,089	6,367
受取利息及び受取配当金	△11	△14
支払利息	2,214	2,265
為替差損益 (△は益)	△46,092	—
補助金収入	△16,931	△18,421
株式報酬費用	1,136	473
新株予約権戻入益	△9,081	△4,390
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,633	29,392
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,602	17,182
仕入債務の増減額 (△は減少)	△146	△123
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,321	△3,640
未払金の増減額 (△は減少)	32,371	△50,028
未払費用の増減額 (△は減少)	11,043	9,071
前受金の増減額 (△は減少)	12,590	△18,168
未払又は未収消費税等の増減額	2,651	19,724
その他	△2,394	△904
小計	324,636	306,176
利息及び配当金の受取額	11	14
利息の支払額	△2,214	△2,265
補助金の受取額	16,931	18,421
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15,331	△37,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,033	284,962
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△141,973	△98,786
無形固定資産の取得による支出	△4,141	△18,069
投資有価証券の取得による支出	△7,000	—
出資金の回収による収入	—	100
敷金の回収による収入	800	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,314	△116,755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	—
リース債務の返済による支出	△19,508	△13,730
自己株式の取得による支出	—	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,491	△13,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,483	△2,407
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	259,693	152,045
現金及び現金同等物の期首残高	1,245,050	1,504,744
現金及び現金同等物の期末残高	1,504,744	1,656,789

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、CE-MS法によるメタボローム解析技術を基盤に事業を展開しており、そのサービス、製品、収益モデル等を勘案し、報告セグメントを「先端研究開発支援事業」、「ヘルスケア・ソリューション事業」としております。

「先端研究開発支援事業」では、主に顧客から受領した測定試料をメタボローム解析し、結果を報告する受託解析サービスの提供を、「ヘルスケア・ソリューション事業」では、ヘルスケア企業研究者に機能性素材開発包括支援サービスの提供やメンタルヘルスバイオマーカーの共同開発を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発 支援事業	ヘルスケア・ ソリューション事業	計
売上高			
日本	1,028,794	2,856	1,031,650
アジアパシフィック	39,385	—	39,385
欧米	152,245	—	152,245
顧客との契約から生じる収益	1,220,425	2,856	1,223,281
外部顧客への売上高	1,220,425	2,856	1,223,281
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—
計	1,220,425	2,856	1,223,281
セグメント利益又は損失 (△)	331,992	△140,842	191,150
セグメント資産	498,027	15,415	513,442
その他の項目			
減価償却費	64,179	716	64,896
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	173,615	256	173,871

当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発 支援事業	ヘルスケア・ ソリューション事業	計
売上高			
日本	1,032,767	47,487	1,080,254
アジアパシフィック	52,405	—	52,405
欧米	166,564	—	166,564
顧客との契約から生じる収益	1,251,738	47,487	1,299,225
外部顧客への売上高	1,251,738	47,487	1,299,225
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—
計	1,251,738	47,487	1,299,225
セグメント利益又は損失 (△)	353,609	△142,627	210,982
セグメント資産	474,188	34,244	508,432
その他の項目			
減価償却費	79,582	804	80,386
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	98,699	665	99,364

5 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	513,442	508,432
全社資産 (注)	1,555,286	1,782,625
連結財務諸表の資産合計	2,068,728	2,291,058

(注) 全社資産は、主に各報告セグメントに配分していない現金及び預金、有価証券等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額 (注)		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	173,871	99,364	8,415	3,202	182,287	102,566

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない共用資産に係るものであります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	先端研究開発支援事業	ヘルスケア・ソリューション事業	計
減損損失	—	248	248

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	238.61円	287.37円
1株当たり当期純利益	45.39円	48.39円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	45.39円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	267,785	285,758
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	267,785	285,758
普通株式の期中平均株式数(株)	5,900,188	5,904,922
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	－
(うち新株予約権行使による増加数(株))	－	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第10回新株予約権(新株予約権450個)、第11回新株予約権(新株予約権295個)、第12回新株予約権(新株予約権170個)、第13回新株予約権(新株予約権340個)	第10回新株予約権(新株予約権420個)、第11回新株予約権(新株予約権295個)、第12回新株予約権(新株予約権170個)、第13回新株予約権(新株予約権295個)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,918	60.2
合計	1,918	60.2

- (注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
2. その他先端研究開発支援事業及びヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

## ② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	13,175	65.4
合計	13,175	65.4

- (注) 1. 上記の金額は、先端研究開発支援事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
2. その他先端研究開発支援事業及びヘルスケア・ソリューション事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

## ③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,267,152	90.5	427,910	107.4
ヘルスケア・ ソリューション事業	49,141	1,720.4	5,310	177.0
合計	1,316,294	93.8	433,220	107.9

## ④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
先端研究開発支援事業	1,251,738	102.6
ヘルスケア・ ソリューション事業	47,487	1,662.5
合計	1,299,225	106.2